

パラリンピックへの道

The way to Paralympic

世界最高峰の大会ですから、当然ながら競技レベルは非常に高いものとなっています。出場するためには、陸上、水泳等の個人競技にはパラリンピック標準記録が設定され、これをクリアしないとたとえ国内1位になったとしても出場することができないのです。(オリンピックにも同じことがいえますが)また、車椅子テニスや卓球のように、国際的なポイントランキングがある競技は、ランキング上位の選手が優先的に出場できるようになっている競技もあります。

パラリンピック

「パラリンピック」とは、「オリンピック」に匹敵する「世界最高峰の障害者の大会」です。1948年、イギリスのストークマンデビル病院の医師、グッドマン博士の提唱で行われた両下肢麻痺の障害者のための大会が起源となっています。1960年の第17回オリンピック・ローマ大会以降、4年に1度、オリンピックと同じ年に開催されることとなりましたが、オリンピックと同じ開催地ということではありませんでした。そして、1988年のソウル大会から、オリンピックと同じ開催地で行われるようになりました。

この「パラリンピック」という言葉の意味ですが、当初は、「Paraplegia(対麻痺者)+Olympic」の合成語として使用されていましたが、ソウル大会から、「Para(もうひとつの)+Olympic」という意味で使用されています。



車椅子バスケットボール
バレーボール・ゴールボール
クワドラグビー・サッカー
アイススレッジホッケー

各チーム

ナショナルチーム

国際予選



全国大会

ブロック大会

柔道・自転車

車椅子テニス・フェンシング・アーチェリー
ローンボール・卓球・ボッチャ・乗馬・射撃

ランキングポイント大会

国際ランキング 上位

ジャパンパラリンピック

日本選手権

ブロック大会

陸上・水泳・スキー
アイススレッジスピードレース

シドニーパラリンピック公式日程

	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)
開会式												
陸上競技												
マラソン												
水泳												
卓球												
射撃												
アーチェリー												
ボッチャ												
フェンシング												
乗馬												
柔道												
パワーリフティング												
テニス												
セイリング												
自転車	トラック											
	ロード											
バスケットボール	車椅子											
	知的											
サッカー												
車椅子ラグビー												
バレーボール												
シッティングバレーボール												
閉会式												

シドニーパラリンピック

2000年10月18日から29日までの12日間、シドニーにおいて開催されます。125カ国から4,000名の選手と2,000人の役員・コーチが参加し18の競技が行われます。18競技種目のうちには、「オリンピック」にはない、「パラリンピック」独自の種目もあります。

「パラリンピック」のロゴマークは、「Breakingthrough(境界を越える)」がコンセプトです。これは、競技参加者達のチャレンジスピリットと無限の可能性を表しています。

マスコットマークは、16年前に一世を風靡した「エリマキトカゲ」で愛称は「リジー(Lizzie)」です。



健常者と障害者が一緒に競技を行った場合、健常者が全く歯がたたない競技があります。それは、なんと「マラソン」なのです。

マラソン大会では、車椅子の部を設けている大会もありますが、基本的には同時スタートでレースを行いません。理由の一つに、レースのスピードがかなり違うことが挙げられます。健常者の世界最高記録といえども、2時間6分台ですが、車椅子マラソンであれば、2時間をきらなければ話にならないのです。車椅子マラソンのトップクラスは、なんと男子で1時間21分台、女子でも1時間39分台で、42.195kmを走り切ります。車椅子マラソンは、一度見るとスピードの凄さに圧倒されること間違いなし。一度、車椅子マラソン大会に足を運んで、そのスピードを感じてみませんか。